

〈特別講演〉

世界金融危機後の証券市場について（仮題）

東京証券取引所グループ社長 斉藤 惇

1、今回の金融危機の発生背景

生産過剰吸収手段として人為的需要創出を借金経済メカを作ることによって敢行した。

ワシントンコンセンサスを出発点とした レッセフェール型自由経済の失敗。

企業倫理の喪失と監督行政側の能力欠如による無秩序な経済を作り出してしまった。

2、コーポレートガバナンスの強化

規制導入を前提としたコーポレートガバナンスの強化が必要になってきた。従来の欧米型ガバナンスは必ずしも有効ではない。

日本モデルを世界に主張していきたい。

3、日本の課題

不動産、株価の長期的凋落の検証。世界の証券市場競争の実態と対策。